

調査団体名	松名瀬干潟ウォッチング	団体代表者名	木原寿代
活動地域	松名瀬干潟	団体URL	なし
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>1997年より松名瀬干潟を守る活動を始める。木原代表が1人で活動している。</p> <p>活動を始めたきっかけは、松名瀬沖に人工島を造るために松名瀬干潟を埋め立ててしまう、という計画(今はなくなった)を知り、素晴らしい松名瀬干潟を守りたいと思ったから。</p> <p>また、年に数回、依頼に応じて観察会や小学校の総合学習支援を行っている。観察会では、外部の専門家の応援がある。</p> <p>自然状態の海岸を復活させるために、市民と協働で海岸のゴミ拾い、外来種の駆除等の保健活動を行っている。</p>			
<p>&lt;連携している団体・専門家・自治体など&gt;</p> <p>観察会では、外部の専門家の協力を得られている。また、「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト」(2003～2007年)で、三重大学や県の担当部局と交流がある。しかしながら、松名瀬干潟に出入りする大学などの研究者は多いにも関わらず、誰がどの程度の調査を行っているかは、木原代表のみならず地元や行政も把握できていないため、干潟を調査する団体との連携はできていない。</p>			
<p>&lt;今までに行った調査・研究&gt;</p> <p>○松名瀬干潟生物・植物調査(1997～)、観察会</p> <p>○松名瀬干潟探検マップ(砂浜の植物、ハマボウ群落、カニ等生きもの・植物)の作成／マップ作成にあたっては三重県農水商工部水産室「みえのうみ」(監修)、及び国土交通省三重河川国道事務所(写真提供)と連携</p>			
<p>&lt;現在直面している課題&gt;</p> <p>○地元の住民や行政が、松名瀬干潟を守るべき環境であることを認識しておらず、干潟保護への理解がなかなか広がらない。</p> <p>○干潟に出入りする人を管理する人(団体)がいない。</p> <p>○外部の様々な機関・団体が調査研究で出入りしているが、誰が出入りしているかも分からず、また、その結果が明らかにされていない。</p> <p>○干潟に関する生物の専門家を育てられる教育機関が三重大学しかないため、人材が不足している。</p> <p>○近年、浜がパラグライダーの拠点となりつつあり、干潟を傷める心配がある。</p>			
<p>&lt;今後どんな情報が必要か&gt;</p> <p>○松名瀬干潟に関する調査研究の結果 ○松名瀬干潟の調査研究を行っている機関名 ○干潟への出入り団体の調査に関する情報 ○人材募集に関する情報 ○行政・地域・NPO・専門家のネットワーク化への情報 ○ビジターセンター設立に向けての情報</p>			



松名瀬干潟カニ穴



松名瀬干潟ウォッチング木原寿代代表と調査員



櫛田川河口と松名瀬干潟(突堤で仕切られている)